

\\ご当地マドンナとゆく\\

日本全国

ゆるり

アウトドア旅



最終回 静岡県

春來たる! 絶品シーフードキャンプと 滝めぐりハイキング

今回のマドンナ

橋場南美さん
河津町のPR役として活躍する第26代「ミス伊豆の踊り子」であり、ラジオパーソナリティや司会業、番組の企画制作にも携わる

橋場温美さん
南美さんの実妹。大学卒業を機に地元である伊豆へ戻り、姉に誘われ今回はキャンプ場へとやって来た。この春からは県内の科学機器を取り扱う商社へ!



ミス伊豆の踊り子

2006年から形を変えながら続いてきた本ご長寿連載も、ついに今回で最終回を迎えます。もうすぐ春ですね、誰かを誘って春キャンプへと出かけませんか。

今回の旅先は…… 静岡県河津町!

伊豆半島の先端部付近に位置する河津町は、天城山系を源にする清流「河津川」が中心に流れる自然豊かな町。2～3月にかけて早咲きする河津桜や、川端康成の代表作『伊豆の踊り子』の舞台としても有名。



ある青年が旅芸人の踊り子に淡い恋心を抱く川端康成の『伊豆の踊り子』。その舞台として知られる静岡県・河津町が最終回の地に決定! そうとなれば、マドンナはこの方以外にないでしょう。第26代「ミス伊豆の踊り子」として活躍される橋場南美さんと、その妹さんをお呼びし、姉妹共演で伊豆の新鮮なシーフードを楽しむ料理キャンプを行なうことになった。

さて今回作るのは「ブイヤベース」。地中海沿岸地方で食べられる魚介類の鍋のことで、世界三大スープのひとつといわれる。「うわ!身が締まって美味しそうな金目鯛! 伊勢エビまで入れちゃうんですか……!」

近くで仕入れた海の幸を手に興奮気味の踊り子さん。サフランを効かせて食材をさっと煮込んだら、保温で調理が進むシャトルシェフに入れてあとは放っておくだけ。またたく間に簡単ブイヤベースが完成した。

「美味しい〜!!」

出汁の効いたスープ、肉厚な魚介類をほお張って姉妹が声をそろえてもだえている。伊豆の人は金目鯛も伊勢エビも食べ飽きているのでは……?

「まさか! 前に食べたのがいっただったか思い出せないほどですよ」と温美さんがニンマリ。本格的な春の前に、胃袋が美味しく温まるキャンプとなった!



熱々料理も
素手でOK



↑伊豆の海の幸は地元民も改めてうなる美味しさ。↓新鮮な金目鯛と伊勢エビを購入。



保温調理で ブイヤベースが 簡単に作れる!

一定時間食材を加熱したら、あとはシャトルシェフにお任せ。入れておくだけで絶品ブイヤベースが完成! でき上がりは冷めにくいお皿へ。真空保温調理器シャトルシェフ/ROP-001、真空断熱ステンレス深型プレート/ROT-002

キャンプの食卓をより快適に! サーモスのアウトドアシリーズ

容量約26ℓ、
畳めばこんなに
コンパクト!

食材の保冷に欠かせないのがクーラーバッグ。インナーボックスを用いた2段構造で、上下に分けて食材を収納できる便利な設計。高い断熱力で保冷力抜群! ソフトクーラー/ROC-002



場面選ばず 活躍する サーモスの 大定番カップ

食にどん欲なのは女子キャンプならではの。ドーナツとカヌレにはコーヒーを合わせて。魔法びんと同じ真空断熱構造のカップは容量350ml、まだ気温の低い春の野外でもドリンクは温かいまま。真空断熱マグカップ/ROD-006

日々頑張る23歳
時々
息抜き大切!



あらゆる街のシーンに溶け込むサーモスクオリティに、野外でも使える機能を加えた「アウトドアシリーズ」。ボトルやタンブラーはもちろん、調理器具や食器、クーラーがそろい、キャンプやハイキングに連れ出さない理由が見つからないラインナップ!



よ〜く冷えたビールを ジョッキで泡まで美味しく!

この春、容量600mlのジョッキが新登場! キンキンに冷えたビールはもちろん、真空断熱で氷が長持ちするからハイボールなど味が薄まりにくいのも◎。真空断熱ジョッキ/ROD-008

提供/サーモス <https://www.thermos.jp/>

河津七滝の遊歩道はアップダウンや長い階段、吊り橋などあり、歩きこたえはなかなかのもの。デイバックに軽食やドリンクを備えよう！



- ↑ 願いを込めて投げ入れる「願い石」で卒業祈願する妹。
- ▶ マグマが冷えて固まる際に規則的な割れ目が入り、棒状の岩がたくさん集まったように見える「柱状節理」。



順路に沿って遊歩道を歩くと手前からふたつ目に位置する滝。河津川と支流の荻ノ入川が出合っると筋の流れになることから「出合滝」と呼ばれる。滝つぼは目を見張る青さ！ここでも滝の両側には曲がった柱状節理が見られる。



清流や自然の造形美を 眺め歩く河津七滝ハイキング



初めてって本当なの？

河津七滝って？

火山の溶岩流が谷に流れ込み作られた7つの滝の総称。河津町を流れる河津川の上流約2kmの間に連続し、遊歩道も整備。七滝は「ななだる」と読む。

七滝の中で3番目に大きい「初景滝」。以前は上を通る国道から最初に見える滝だったことから命名され(今は木々で見えない)、「踊り子と私」の像も建てられている。



お腹が満たされたところで、河津七滝へハイキングに出かけることに！河津七滝は片道約1時間をかけて7つの滝を巡れる伊豆有数の景勝地で、マイナスイオンがたっぷり浴びられることなどから地元民のハイキングコースとしても人気だ。

川沿いに敷かれた遊歩道を歩くこと約20分。お目当ての「初景滝」は、7つの滝の中でも滝つぼまで最接近して落差10mの迫力に肉薄できるスポット。谷あいでは気温はやや低めだが、ボトルに詰めてきた熱いコーヒーを手に入れたりすれば家族トクを楽しむ。

「いや〜久々に来たけど、水のそばは落ち着くね」と姉。すると「私ここ初めてかも。滝、デカイね(笑)」とまさかの返答！目を見開く南美さんを横目に温美さんは次なる滝を目指して歩きます。そうして姉妹は軽やかに滝を巡り、腹ごなしを進めたのだった。新鮮魚介やゴキゲンなハイキングスポットが待つ春の伊豆へ、出かけてみては！